

2023年度 ユニット評価調査の結果分析

令和 6 年 2 月 27 日

埼玉医科大学 IRセンター

<調査の概要>

ユニット評価調査は、ユニットの講義・実習・試験等がすべて終わった時に、教育内容、教育手法、試験等に対して学生がユニットごとに評価を行うものである。2023年度は、講義を主な教育方法とする1～4年生のすべてのユニットを対象として実施した。回答は、試験終了後1週間以内にSMUパスポートから回答する形式とした。

<調査の対象となったユニット>

1年生10ユニット、2年生9ユニット、3年生14ユニット、4年生15ユニットの合計48ユニットが対象となった（表1）。

<調査の内容>

本調査は2020年度から開始しているが、2023年度からは調査内容を一部変更することとなった。しかし、学務課との連携がうまくいかず、2023年7月頃までは2022年度版の旧調査票による調査が行われた（旧調査票が使用されたユニットを表1内の*で示す）。そのため、本報告では一部の質問項目において、複数の集計結果を併記している。

<回答率>

各ユニットの回答率を表1に示す。回答率の全体での平均は21.0%であった。

表1 対象ユニットと回答率

学年	ユニット名	回答率	学年	ユニット名	回答率	学年	ユニット名	回答率
1 年生	行動科学と医療倫理	13.5	3 年生	疫学	23.7	4 年生	異状死の診断	14.0
	細胞生物学 1	23.4		感染	25.9		画像	15.5
	細胞生物学 2	14.9		血液	11.5		感覚器*	24.0
	細胞生物学 3	28.3		呼吸器	23.0		感染*	24.8
	人体の基礎科学 1	19.1		行動科学と医療倫理	16.6		環境と健康*	22.5
	人体の基礎科学 2	12.1		循環器	18.7		救急・麻酔	24.8
	人体の構造と機能 1-1*	29.1		消化器	16.6		行動科学と医療倫理*	26.4
	人体の構造と機能 1-2	13.5		神経	20.1		疾病の予防と対策*	22.5
	人体の構造と機能 1-3	23.4		診療の基本	28.1		腫瘍	16.3
	地域医療とチーム医療	20.6		腎・泌尿器	30.2		小児	15.5
2 年生	エネルギー系	32.8		生殖器	19.4		精神*	24.8
	構造系実習*	32.1		地域医療とチーム医療	18.0		地域医療とチーム医療	17.1
	行動科学と医療倫理	17.9		内分泌・代謝	20.9		皮膚・運動器*	27.1
	情報系	17.6		免疫	28.8		母体・胎児・新生児*	27.1
	生体防御総論	19.1					免疫	20.2
	地域医療とチーム医療	17.6						
	調節系	17.6						
	病理総論	15.2						
	薬理総論	17.6						

※ 回答率の単位は%

【1】このユニットで修得すべき内容の分量に照らして、講義のコマ数はどうでしたか？ ※

1 年	2 年	3 年	4 年
地域医療とチーム医療	病理総論	感染	画像（放射線）
細胞生物学 1	生体防御総論	生殖器	地域医療とチーム医療
人体の基礎科学 2	薬理総論	循環器	腫瘍
細胞生物学 2	エネルギー系	消化器	救急・麻酔
人体の構造と機能 1-3	情報系	呼吸器	異状死の診断
	地域医療とチーム医療		

（各学年上位 5 ユニット）

【2】各講義の内容は、シラバスに沿った内容でしたか？

1 年	2 年	3 年	4 年
行動科学と医療倫理	行動科学と医療倫理	疫学	環境と健康
地域医療とチーム医療	病理総論	行動科学と医療倫理	行動科学と医療倫理
人体の構造と機能 1-1	生体防御総論	生殖器	疾病の予防と対策
人体の構造と機能 1-2	地域医療とチーム医療	内分泌・代謝	感染
人体の基礎科学 1	調節系	感染	異状死の診断

（各学年上位 5 ユニット）

【5】講義の教え方は、この領域を教える講義としてよく吟味され、洗練されたものでしたか？

1 年	2 年	3 年	4 年
行動科学と医療倫理	生体防御総論	行動科学と医療倫理	感染
地域医療とチーム医療	行動科学と医療倫理	疫学	環境と健康
人体の基礎科学 2	地域医療とチーム医療	生殖器	行動科学と医療倫理
人体の構造と機能 1-3	調節系	感染	感覚器
細胞生物学 1	病理総論	地域医療とチーム医療	異状死の診断

（各学年上位 5 ユニット）

【6】ここからの4問は試験についての質問です。試験は、シラバスに記載された目標の達成を確認するために行うものです。

この試験の目的に照らして、試験の出題形式（MCQ形式、記述形式、等）は適切だったと思いますか？

1年	2年	3年	4年
地域医療とチーム医療	生体防御総論	生殖器	感染
人体の構造と機能 1-3	行動科学と医療倫理	行動科学と医療倫理	行動科学と医療倫理
人体の基礎科学 1	情報系	疫学	疾病の予防と対策
行動科学と医療倫理	病理総論	地域医療とチーム医療	異状死の診断
細胞生物学 1	調節系	免疫	環境と健康

（各学年上位5ユニット）

【7】試験の出題範囲は、シラバスに記載された学習目標に合致したものでしたか？

1年	2年	3年	4年
行動科学と医療倫理	行動科学と医療倫理	行動科学と医療倫理	行動科学と医療倫理
人体の構造と機能 1-3	情報系	生殖器	環境と健康
地域医療とチーム医療	生体防御総論	疫学	異状死の診断
人体の基礎科学 1	調節系	免疫	感染
人体の構造と機能 1-1	病理総論	感染	感覚器
	構造系実習		

（各学年上位5ユニット）

※2年生は6ユニット同率1位

【9】試験の出題範囲の分量は、1回の試験で出題される試験範囲の分量としてどうでしたか？※

1年	2年	3年	4年
地域医療とチーム医療	生体防御総論	地域医療とチーム医療	異状死の診断
人体の基礎科学 1	病理総論	行動科学と医療倫理	画像（放射線）
細胞生物学 1	調節系	生殖器	地域医療とチーム医療
細胞生物学 2	地域医療とチーム医療	疫学	小児
人体の構造と機能 1-3	薬理総論	診療の基本	免疫

（各学年上位5ユニット）

【10】このユニットの講義は、あなたの知識に実りをもたらすものでしたか？

10 点満点でこのユニットを採点してください。

1 年	2 年	3 年	4 年
細胞生物学 1	生体防御総論	行動科学と医療倫理	感染
人体の構造と機能 1-1	調節系	疫学	行動科学と医療倫理
人体の構造と機能 1-3	病理総論	地域医療とチーム医療	精神
人体の基礎科学 1	情報系	感染	環境と健康
行動科学と医療倫理	構造系実習	生殖器	母体・胎児・新生児

(各学年上位 5 ユニット)

※の設問については、一部ユニットは調査対象外

2022年度 ユニット評価調査の結果分析

令和5年4月17日

埼玉医科大学 IRセンター

＜調査の概要＞

ユニット評価調査は、ユニットの講義・実習・試験等がすべて終わった時に、教育内容、教育手法、試験等に対して学生がユニットごとに評価を行うものである。2022年度は、講義を主な教育方法とする1～4年生のすべてのユニットを対象として実施した。

＜調査の対象となったユニット＞

1年生10ユニット、2年生9ユニット、3年生14ユニット、4年生15ユニットの合計48ユニットが対象となった（表1）。

＜調査の内容＞

資料1に示す調査を無記名で行った。令和4年度初期に調査を行った4年生の一部のユニット（表1内の*で示す）については、設問【1】～【9】は、試験終了時に試験会場でそのまま引き続いてマークシートで回答する形式とし、設問【10】～【12】は試験終了後1週間以内にSMUパスポート上で回答する形式とした。しかし、マークシートでの回答では、設問を読まずにすべて同じところにマークをする学生が一部にみられ、調査の信頼性を損なうと考えられたため、年度の途中から、すべての設問をSMUパスポート上で回答する形式とした。

＜回答率＞

マークシートで回答を受けた部分については、試験後にそのまま行ったため回答率はほぼ100%となった。SMUパスポートで回答を受けた部分についての回答率を表1に示す。

表1 対象ユニットとSMUパスポート分の回答率

学年	ユニット名	回答率	学年	ユニット名	回答率	学年	ユニット名	回答率
1 年 生	行動科学と医療倫理	64.9	3 年 生	疫学	62.8	4 年 生	異状死の診断	24.7
	細胞生物学 1	80.6		感染	52.6		画像	39.7
	細胞生物学 2	64.2		血液	35.8		感覚器*	41.8
	細胞生物学 3	68.7		呼吸器	40.9		感染*	43.2
	人体の基礎科学 1	85.8		行動科学と医療倫理	33.6		環境と健康*	44.5
	人体の基礎科学 2	61.9		循環器	43.1		救急・麻酔*	25.3
	人体の構造と機能 1-1	91.0		消化器	35.0		行動科学と医療倫理*	33.6
	人体の構造と機能 1-2	70.9		神経	30.7		疾病の予防と対策*	36.3
	人体の構造と機能 1-3	66.4		診療の基本	57.7		腫瘍	32.2
	地域医療とチーム医療	61.9		腎・泌尿器	40.9		小児	24.7
2 年 生	エネルギー系	41.0		生殖器	35.8		精神*	29.5
	構造系実習	48.2		地域医療とチーム医療	31.4		地域医療とチーム医療	30.1
	行動科学と医療倫理	30.9		内分泌・代謝	33.6		皮膚・運動器*	21.9
	情報系	33.1		免疫	51.8		母体・胎児・新生児*	45.9
	生体防御総論	30.9					免疫	32.9
	地域医療とチーム医療	31.7				※ 回答率の単位は%		
	調節系	36.0						
	病理総論	31.7						
	薬理総論	36.7						

【1】このユニットで担当する到達目標の量・内容と比較して、講義のコマ数はどうでしたか？

1 年	2 年	3 年	4 年
行動科学と医療倫理	エネルギー系	消化器	免疫
人体の構造と機能 1-2	情報系	診療の基本	救急・麻酔
細胞生物学 3	調節系	循環器	皮膚・運動器
細胞生物学 1	構造系実習	感染	地域医療とチーム医療
人体の基礎科学 2	薬理総論	呼吸器	感覚器

(各学年上位 5 ユニット)

【2】各講義の内容は、シラバスに沿った内容でしたか？

1 年	2 年	3 年	4 年
地域医療とチーム医療	行動科学と医療倫理	疫学	地域医療とチーム医療
行動科学と医療倫理	構造系実習	感染	画像（放射線）
人体の構造と機能 1-2	病理総論	地域医療とチーム医療	異状死の診断
人体の基礎科学 2	地域医療とチーム医療	呼吸器	救急・麻酔
人体の構造と機能 1-3	生体防御総論	生殖器	感覚器
			感染

(各学年上位 5 ユニット)

(4 年生は 2 ユニットが同率 5 位)

【5】講義の教え方は、この領域を教える講義としてよく吟味され、洗練されたものでしたか？

1 年	2 年	3 年	4 年
人体の基礎科学 2	病理総論	疫学	画像（放射線）
地域医療とチーム医療	地域医療とチーム医療	行動科学と医療倫理	異状死の診断
人体の構造と機能 1-3	行動科学と医療倫理	感染	地域医療とチーム医療
行動科学と医療倫理	生体防御総論	呼吸器	救急・麻酔
人体の構造と機能 1-2	調節系	地域医療とチーム医療	感覚器
			小児

(各学年上位 5 ユニット)

(4 年生は 2 ユニットが同率 5 位)

【6】試験は、シラバスに記載された学習目標の到達を確認するために行っています。この目的に照らして、試験の出題形式は適切だったと思いますか？

1 年	2 年	3 年	4 年
地域医療とチーム医療	病理総論	疫学	異状死の診断
細胞生物学 1	生体防御総論	感染	感覚器
人体の構造と機能 1-1	地域医療とチーム医療	呼吸器	地域医療とチーム医療
細胞生物学 2	構造系実習	地域医療とチーム医療	感染
人体の基礎科学 2	情報系	神経	環境と健康

(各学年上位 5 ユニット)

【7】試験の出題範囲は、シラバスに記載された学習目標に合致したものでしたか？

1 年	2 年	3 年	4 年
人体の構造と機能 1-1	地域医療とチーム医療	疫学	異状死の診断
行動科学と医療倫理	病理総論	地域医療とチーム医療	地域医療とチーム医療
地域医療とチーム医療	行動科学と医療倫理	感染	画像（放射線）
人体の構造と機能 1-3	生体防御総論	行動科学と医療倫理	感覚器
人体の構造と機能 1-2	構造系実習	呼吸器	環境と健康

(各学年上位 5 ユニット)

【9】このユニットの講義は、あなたの知識に実りをもたらしましたか？ 学生に知識を提供し興味を引き出すユニットの使命に照らして、10 点満点でこのユニットの採点をしてください。

1 年	2 年	3 年	4 年
人体の構造と機能 1-3	病理総論	疫学	感覚器
細胞生物学 1	生体防御総論	感染	異状死の診断
人体の構造と機能 1-1	行動科学と医療倫理	呼吸器	感染
人体の構造と機能 1-2	地域医療とチーム医療	神経	行動科学と医療倫理
地域医療とチーム医療	構造系実習	生殖器	環境と健康

(各学年上位 5 ユニット)